

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションI)	単位数	3単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	東京書籍『All Aboard English Communication I』				
副教材等	東京書籍『高校英語入門』、英和辞書				

1 学習目標

<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--

2 学習計画

※知・知識・技能、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1 学期	4	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞の用法を理解し、自分の名前・性格などを相手に伝える。 ・自分の名前・性格などを整理して、相手が理解しやすいように伝える。 	4	○			春休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
		Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の用法を理解し、自分の日常の行動などを相手に伝える。 ・自分の日常の行動などを整理して、相手が理解しやすいように伝える。 	5	○		○ ○	
	5	Lesson 1 Breakfast around the World	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の過去形の用法を理解する。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う。 ・世界の朝食に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について英語で述べる。 	8	○		○ ○	
		1学期中間考査		1	○	○		
	6	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形の用法を理解する。進行形の理解をもとに、好きな動物について考えや好み、その理由を伝え合う。 ・オーストラリアに生息する 	4	○		○ ○	

			野生動物に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について英語で述べる。				
		文法のまとめ 1	・「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○
		Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	・助動詞 can、will の用法を理解する。助動詞 can、will を用いて情報や考えを伝え合う。 ・被災地域で働く列車運転士に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできることについて英語で述べる。	5	○	○	○
		1学期期末考査		1	○	○	
	7	Lesson 4 A Miracle Mirror	・ to 不定詞の用法を理解する。to 不定詞を用いて情報や考えを伝え合う。 ・ある場所に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所について英語で述べる。	9	○	○	○
							夏休み課題の提示
2 学 期	9	Lesson 5 Learning from the Sea	・動名詞の用法を理解する。動名詞を用いて情報や考えを伝え合う。 ・高校のユニークな部活動に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、将来の夢について英語で述べる。	5	○	○	○
		文法のまとめ 2	・「助動詞」「to 不定詞」「動名詞」「接続詞」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○
		Reading 1 Short Stories in English	・英語で書かれた Short Stories の内容を理解し、読み取る。 ・英語で書かれた Short Stories の内容に関する問いに答える。また登場人物の気持ちを考えながらペアになっ	5	○	○	○
							夏休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション

			て音読する。					
	10	2学期中間考査		1	○	○		
		Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の用法を理解する。受け身を用いて情報や考えを伝え合う。 ・歌川国芳の浮世絵に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな絵について英語で述べる。 	11	○		○	○
	11	Lesson 7 A Diary of Hope	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現の用法を理解する。比較表現を用いて考えを伝え合う。 ・アンネ・フランクの生活と彼女の日記に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、関心のある人物について英語で説明する。 	11	○		○	○
		2学期期末考査		1	○	○		
	12	Lesson 8 A Door to a New Life	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の用法を理解する。現在完了形を用いて考えを提案する。 ・ロボットカフェに関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人の生活を豊かにするロボットについて英語で提案する。 	7	○		○	○
		文法のまとめ 3	・「受け身」「比較表現」「完了形」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○	
								冬休み課題の提示
3 学 期	1	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を後ろから説明する分詞の用法を理解する。名詞を後ろから説明する分詞を用いて考えを伝え合う。 ・プラスチックごみによる環境汚染に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、環境を守るためにできることについて英語で述べる。 	9	○		○	○
								冬休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション

2	Lesson 10 Pigs from across the Sea	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 who、which の用法を理解する。関係代名詞 who、which を用いて考えや情報を伝え合う。 ・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイからの援助に関する文章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会に対する理解を深める活動について英語で述べる。 	8	○			
	学年末考査		1	○	○		
3	文法のまとめ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。 	3	○	○	○	

春休み課題の提示

計 105 時間 (50 分授業)

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるようにしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスクなどから、評価します。		

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」 25 時間	「読むこと」 30 時間	「話すこと[やり取り]」 10 時間	「話すこと[発表]」 10 時間	「書くこと」 30 時間
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------------	---------------------	-----------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

4 関連する検定

・実用英語技能検定 3級、準2級

5 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・スピーチ、エッセイなどのパフォーマンスタスクのワークシート、作品 ・長期休業中課題
--

6 担当者からの一言

<p>「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の4技能をバランスよく身に付け、英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、取り組みましょう。</p> <p style="text-align: right;">(担当：英語科)</p>
--

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーションⅡ)	単位数	3単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	東京書籍『All Aboard! English Communication I』『All Aboard! English Communication II』				
副教材等	桐原書店『英文法ワークショップ』				

1 学習目標

<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

2 学習計画

※知・知識・技能、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考	
					知	思	主		
1 学期	4	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・名詞を後ろから説明する分詞 ・環境を守るためにできることについて英語で述べる。	7	○			春休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション	
		Lesson 10 Pigs from across the Sea	・関係代名詞 who、which ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について述べる。	8	○				
		1学期中間考査		1	○	○			
	6	文法のまとめ 4	・「名詞を後ろから説明する分詞」「関係詞」「句読法」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。	2	○	○	○		
		Pre-Lesson My Plans for This Year	・to不定詞、助動詞 will ・今年やってみたいことを to不定詞や助動詞 will を用いて相手に伝える。	4	○		○		
		Lesson 1 A Colorful Island	・関係代名詞 what ・海外の観光地や、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて述べる	8	○		○		
			1学期期末考査		1	○	○		
	7	Lesson 2 With the Beatles	・比較表現<more><the most> ・世代を超えて人気のある音楽バンドについて学び、好きな人物について述べる。	8	○		○		夏休み課題の提示

2 学 期	9	Lesson 3 Wild Men	<ul style="list-style-type: none"> ・ it を用いた文 <It is... (for -) to ~> <It is... that ~> ・ ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学び、身近な行事について述べる。 	9	○			夏休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション	
		文法のまとめ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「知識」「関係代名詞」「比較表現」「it の用法」を理解し、相手とコミュニケーションをする。 	2	○	○	○		
	10	2学期中間考査		1	○	○			
		Lesson 4 Little Hero	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間接疑問文 ・ ハチドリやハチドリを主人公にした物語について述べる。 	10	○		○		○
	11	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	<ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞 ・ 歌舞伎と隈取について学び、日本の伝統文化について述べる。 	10	○		○		○
		2学期期末考査		1	○	○			
	12	Reading 1 <i>Mujina</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で書かれた <i>Mujina</i> の内容を理解する。 ・ 英語で書かれた <i>Mujina</i> の内容を読み取り、情景や登場人物の心情を相手に伝える。 	7	○		○		○
		文法のまとめ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「間接疑問文」「to 不定詞を含む表現」「動詞の形と『時』の関係」の用法を理解し、相手とコミュニケーションをする。 	2	○	○	○		冬休み課題の提示
3 学 期	1	Lesson 6 Seeds for Future Generations	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動詞の目的語になる if 節 ・ 京野菜について学び、地元の有名な場所やものについて伝え合う。 	9	○		○	○	冬休み課題テスト 定期考査 提出物 スピーチ エッセイ プレゼンテーション
		Lesson 7 Over the Wall	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係副詞 where、when ・ 世界中で壁画を描く活動について学び、外国の人々と交流する方法について伝え合う。 	8	○		○	○	
	学年末考査		1	○	○				
	3	Lesson 8 Inspiration from Nature	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知覚動詞を用いた文 ・ 生物模倣について学び、自然界のデザインをヒントに開発された製品について伝え合 	6	○		○	○	

		う。					春休み課題の提示
--	--	----	--	--	--	--	----------

計 105 時間 (50 分授業)

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるようにしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業に取り組む態度やペアワークやグループワークへの参加状況 ・ワークシート等の課題への取り組み状況 ・小テスト、定期考査、課題テスト、パフォーマンスタスクなどから、評価します。		

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと[やり取り]」	「話すこと[発表]」	「書くこと」
	25 時間	30 時間	10 時間	10 時間	30 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

4 関連する検定

・実用英語技能検定 3級、準2級、2級

5 課題・提出物等

・小テスト
 ・スピーチ、エッセイなどのパフォーマンスタスクのワークシート、作品
 ・長期休業中課題

6 担当者からの一言

「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の4技能をバランスよく身に付け、英語で自分の考えを表現できるようになることを目標に、取り組みましょう。

(担当：英語科)

英語会話（必修）	履修学年	3 学年	履修学科	全学科
	単位数	2 単位	履修コース	全コース

1. 科目の概要

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。			
使用教科書	SELECT English Conversation (三省堂)	補助教材	英文法ワークショップ(桐原書店)	
補助教材	All Aboard! English Communication II(東京書籍)			

2. 授業計画と学習内容

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価方法
1 学 期	4	Lesson 1 New Friends	興味・関心	1 0	春課題テスト 小テスト 各定期考査 提出物 インタビューテスト ロールプレイトスト プレゼンテーション エッセイ *タブレットで、活動や OP を録画してフィードバック したり、課題を提出したりする。
	5	Lesson 2 Free Time	余暇 ・友達インタビューテスト		
	1 学 期 中 間 考 査			1	
	6	Lesson 3 Are you Okay?	体調	1 3	
	7	Lesson 4 Our School	学校 ・ロールプレイトスト		
	1 学 期 期 末 考 査			1	
2 学 期	9	Lesson 5 Weather	天気・気候	1 6	
	10	Lesson 6 TV Programs	好きなもの ・夏休みについてエッセイ		
	2 学 期 中 間 考 査			1	
	11	Lesson 7 Talking on a Cell Phone	都合をたずね、待ち合わせを する。	1 5	
	12	Lesson 8 Telling the Way	道をたずねる。 ・道案内インタビューテスト		
	2 学 期 期 末 考 査			1	
		Lesson 9 Kyoto	乗り物	1 1	

	1	Lesson 10 Shopping	買い物 ・買い物ロールプレイテスト		
3 学 期	2	Lesson 11 Restaurant Lesson 12 Making a Plan	食事を注文する。 勧誘 ・冬休みについてエッセイ		
	3	学 年 末 考 査		1	

計 7 0 時間 (5 0 分授業)

3. 評価について

評価の観点	① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	② 外国語表現の能力	③ 外国語理解の能力	④ 言語や文化についての知識・理解
	・英語でコミュニケーションをはかろうとする意欲を持ち、授業へ積極的に参加している	・授業で習ったことや聞き取った内容を的確に理解している	・さまざまな会話表現を用いた言語活動を通して、コミュニケーション能力を的確に身につけている	・知識として身につけた発音、文法、語彙、語句等が、十分な表現力や理解力に達している
	以上の観点をもとに ・小テストや定期考査・課題考査・パフォーマンスタスク・授業や課題の取組状況・出席状況等から総合的に評価します			
関連する検定	実用英語技能検定 3級、準2級			
担当者からのメッセージ	英語会話の授業は、ALT とのチームティーチングと JTL のソロ形式で行う予定です。授業では、リスニング、ペアワーク、グループワーク、ロールプレイ、インタビュー、スピーチなど、さまざまなコミュニケーション活動を行いますので、積極的かつ意欲的に取り組んでください。 (担当：英語科)			